

株式会社メルコホールディングス

Business Report

2024.4.1 — 2024.9.30

Wi-Fi 7



法人向けNAS



Airdog X1D



流水麺



長期的な株主価値の最大化を目指し 組織再編計画を鋭意推進

株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長

牧 寛之



利益は前年同期比で大幅に改善

当中間連結会計期間における日本及び世界経済は、ウクライナ情勢の長期化、世界的な物価の上昇、円安の継続などにより、先行き不透明な状況が続いております。

デジタル家電業界は、法人向け市場では企業の設備投資に増加傾向がみられたものの、個人向け市場においては物価高による消費余力の低迷などにより、需要の縮小が継続しました。また、食品業界においては、原材料価格の高騰や製造労務費の上昇に伴う商品価格改定が継続する中で、お客様の経済性志向はますます強まっており、引き続き厳しい事業環境となりました。

こうした状況下で当中間連結会計期間の業績は、売上高738億96百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益30億8百万円(同67.3%増)、経常利益32億3百万円(同94.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益19億42百万円(同52.3%増)となりました。

積極的な拡販と利益確保に注力

IT関連事業では、法人向け市場においてリモート管理サービス「キキNavi」で無線LANアクセスポイントのローミング支援・AP間電波自動調整の一括設定や、NASのリモート設定が可能となる無料アップデートを実施しました。個人向け市場では値上げにより収益は改善したものの、国内需要の縮小及び原価高騰により非常に厳しい市況が続いております。一方、「Airdog」シリーズは取扱店舗数や売場面積の拡大、アレルギーに関する啓発活動などにより販売台数が前年同期比を上回りました。

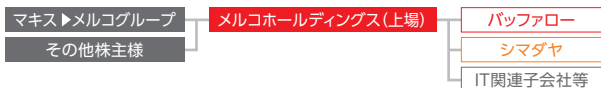
食品事業では、家庭用は主力ブランドの「流水麺」や節約志向に対応した「太鼓判」などを積極的に拡販し、特に西日本エリアでシェアを伸ばしました。業務用は付加価値商品の提案を強化し、低利益商品から高利益商品への切替を進めました。利益面では、生産食数増加による生産効率改善や経費抑制などにより、引き続き利益確保に努めました。

組織再編は第3ステップへ

当社は、2003年に純粋持株会社体制に移行し、複合的な長期成長企業群としての経営形態を意味する「森の経営」を実践してまいりました。移行後、当社グループは着実に経営基盤の強化と事業分野の拡大を図ってまいりましたが、一方で事業分野の範囲が広すぎることによる、さまざまな問題点も顕在化してきました。そこで経営環境・社会の変化が激しい現在の状況も踏まえ、長期的な株主価値の最大化を目指すために、食品事業を担うシマダヤ株式会社のスピンオフ上場(2024年10月1日実施済)に続き、当社の連結子会社である株式会社バッファローの吸収合併を予定しております。2025年4月1日を効力発生日として当社を吸収合併存続会社、株式会社バッファローを吸収合併消滅会社とし、また本吸収合併に伴い当社の商号を「株式会社バッファロー」に変更いたします。本吸収合併による組織再編で、迅速な事業戦略の実行及び、さらなるIT関連事業の成長を促進し、長期的な株主価値の最大化を目指してまいります。

組織再編のステップ

STEP 1 親会社の(株)マキスが(株)メルコグループに社名変更 (2023年7月1日)



STEP 2 シマダヤ(株)のスピンオフ・上場 (2024年10月1日)

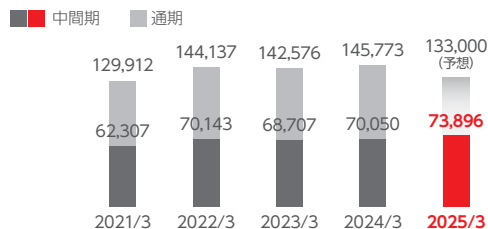


STEP 3 当社と(株)バッファロー合併、(株)バッファローに社名変更 (2025年4月1日予定)



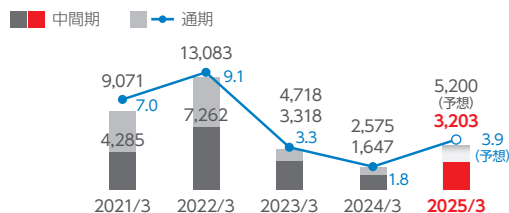
※株式会社メルコグループ(旧社名:マキス)は当社の会社法上の親会社にあたります。
 ※必要に応じ、株主総会に付議し、株主様による承認を前提とします。

連結売上高 (単位:百万円)



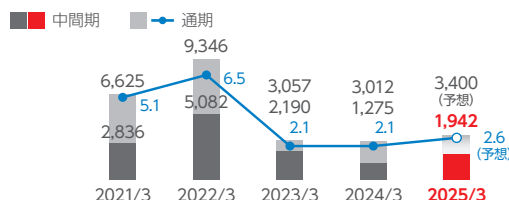
連結経常利益 (単位:百万円)

連結売上高経常利益率 (単位:%)

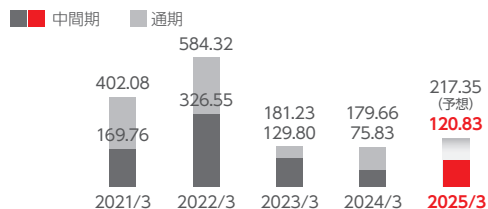


親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)

連結売上高当期純利益率 (単位:%)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



※各数値に係る注記はP.8を参照ください。

お客様の社会生活の変化をグループ一丸となって

IT関連

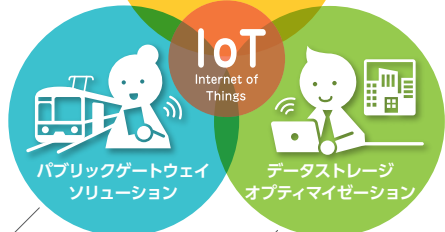
Wi-Fiをはじめとするネットワーク製品、パソコン・テレビ録画用外付けハードディスクや遠隔監視・操作が可能な法人向けNASなどのストレージ製品、磁気データ消去装置「MagWiper」など、デジタル家電やパソコン周辺機器を中心にさまざまな製品を提供しています。また、高性能空気清浄機「Airdog」、高速ナノバブル水ジェネレーター「ナノバサラ」、ネットワークレコーダー&メディアストレージ「nasne®」*、ハイレゾ音源専用デジタルミュージックライブラリーなど日常に豊かさを提案する製品も取り扱っています。さらに、データ復旧サービス、リモート管理サービス「キキNavi」などのサービスやソリューションも提供しています。

*「nasne®」は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標です。

中期ビジョン「ゲートウェイ2.0」

モノのインターネット
IoT時代の社会全体での安心ネットワークを提供

家庭内でWi-Fiが「つながらない」「つなげられない」
「つながらなくなった」をなくす



パブリックスペースでWi-Fiに
「つながらない」「つながるのが面倒」
「つながるのが怖い」をなくす

大事なデータが「消失した」
「消失が怖い」「再生できない」
「使えるが遅い」をなくす



Wi-Fi 7対応ルーター



外付けハードディスク



nasne®



法人向けNAS



Airdog



ナノバサラ



デジタルミュージックライブラリー



キキNavi

キキNavi



データ復旧サービス

日経BPガバメントテクノロジー 2024年秋号 自治体ITシステム満足度調査 2024-2025
ストレージ部門でバッファローが1位を獲得

調査概要

「日経BPガバメントテクノロジー 自治体ITシステム満足度調査」は、日経コンピュータ誌が企画・実施した「顧客満足度調査」(対象は民間企業を含む1万2122社・団体の情報システム部門)のうち、官公庁・自治体の計146団体からの回答を集計したもの(調査票発送数は1622団体)。



サポートします

食品

ゆでずに水でほぐすだけで食べられる「流水麺」や、健康価値商品「健美麺」をはじめ、うどん・そば・ラーメン・焼そば・パスタなどバラエティ豊かな商品を提供しています。家庭用商品はチルド麺・冷凍麺、業務用商品は冷凍麺を中心に展開しています。素材としての麺だけではなく、魅力ある「麺料理メニュー」や新しい「麺の食べ方」など、常にお客様の視点に立った商品作りにより、麺市場の新たな可能性を創造しています。

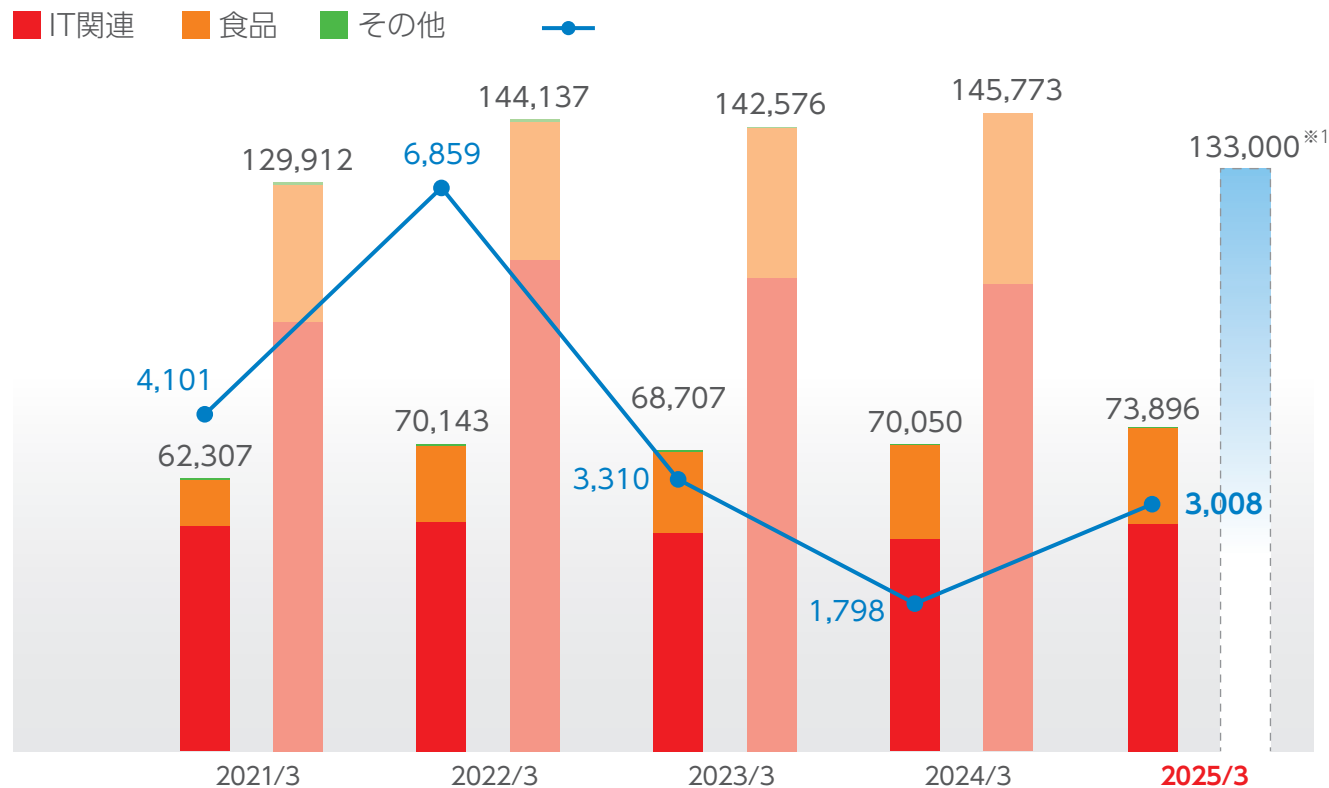
※2024年10月1日付でシマダヤ株式会社の株式の現物配当(株式分配型スピンオフ)を実施したことに伴い、食品事業につきましては2024年10月1日以降は当社のセグメントから除外されます。

開発基本キーワード「7K」



連結売上高 (単位：百万円)

連結営業利益 (単位：百万円)



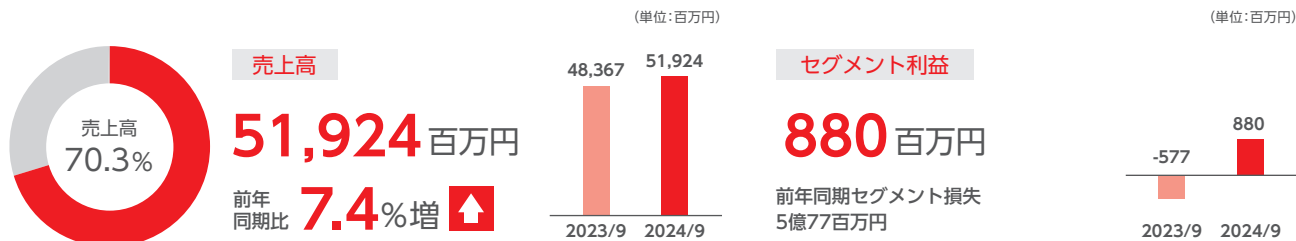
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期(予想)
■ IT関連	44,363	97,929	52,335	112,161	49,801	108,011	48,367	106,573	51,924	—
■ 食品	17,534	31,195	17,471	31,317	18,657	34,115	21,567	38,973	21,862	—
■ その他 ^{※2}	410	787	336	658	248	449	115	225	109	—

※1 2024年10月1日付でシマダヤ株式会社の株式の現物配当(株式分配型スピンオフ)を実施したことに伴い、2025年3月期通期連結業績予想には、食品事業の上期業績のみ含まれます。

※2 報告セグメントのうち「金融事業」は、重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。2022年3月期以前は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

事業別連結売上高・セグメント損益

IT関連

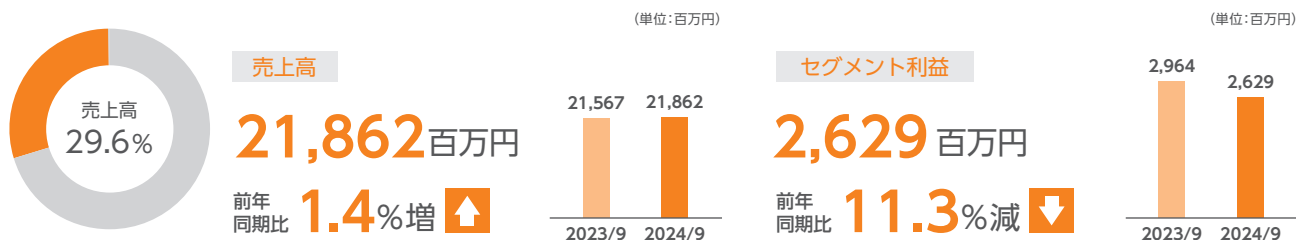


主力とするパソコン周辺機器市場において、法人向け市場では企業DXを支援する一環として、リモート管理サービス「キキNavi」で無線LANアクセスポイントのローミング支援・AP間電波自動調整の一括設定や、NASのリモート設定が可能となる無料アップデートを実施いたしました。個人向け市場では、台数シェアを維持することに努め、値上げにより収益は改善したものの、国内需要の縮小及び長引く円安を主要因とする原価高騰により非常に厳しい市況が継続しております。

一方、当社グループ会社が国内代理店を担っている高性能空気清浄機など「Airdog」シリーズにおいては、取扱店舗数や売場面積の拡大により百貨店での販売台数が伸びました。またアレルギーに関する啓発活動を促進するなどの取り組みを行い、全体の販売台数は前年同期比で上回りました。

これらの結果、売上高519億24百万円（前年同期比7.4%増）、セグメント利益8億80百万円（前年同期セグメント損失5億77百万円）となりました。

食品



販売面では、家庭用は、主力ブランドの「流水麺」や節約志向に対応した「太鼓判」などを積極的に拡販し、特に西日本エリアでシェアを伸ばしました。業務用は、「真打」そば類などの付加価値商品の提案を強化し、低利益商品から高利益商品への切替を進めました。利益面では、物流費・製造労務費が上昇する中、生産食数増加による生産効率改善や経費抑制などにより、引き続き利益確保に努めました。

これらの結果、売上高218億62百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益26億29百万円（同11.3%減）となりました。

なお、2024年10月1日公表の「シマダヤ株式会社の東京証券取引所上場に関するお知らせ」の通り、シマダヤ株式会社の株式分配型スピンオフの実施により、食品事業につきましては2024年10月1日以降は当社のセグメントから除外されます。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期 2024年 9月30日現在	前期 2024年 3月31日現在
① 資産の部		
流動資産	70,546	75,627
固定資産	20,131	20,308
有形固定資産	10,674	11,080
無形固定資産	3,471	3,705
投資その他の資産	5,985	5,523
資産合計	90,677	95,936
② 負債の部		
流動負債	28,267	29,068
固定負債	2,907	2,945
負債合計	31,175	32,014
③ 純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	250	250
利益剰余金	57,363	62,097
自己株式	△326	△756
株主資本合計	58,286	62,590
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	1,200	1,030
繰延ヘッジ損益	△108	150
為替換算調整勘定	△41	△4
退職給付に係る調整累計額	165	155
その他の包括利益累計額合計	1,215	1,332
純資産合計	59,501	63,922
負債純資産合計	90,677	95,936

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

① 資産の部

総資産は906億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億59百万円減少しました。流動資産は705億46百万円となり、50億81百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少74億90百万円、その他流動資産の減少6億74百万円、原材料及び貯蔵品の減少3億85百万円、商品及び製品の増加17億61百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加17億7百万円によるものです。固定資産は201億31百万円となり、1億77百万円減少しました。これは主に、有形固定資産の減少4億6百万円、無形固定資産の減少2億33百万円、投資その他の資産の増加4億62百万円によるものです。

② 負債の部

負債合計は311億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億38百万円減少しました。流動負債は282億67百万円となり、8億円減少しました。これは主に、未払費用の減少10億45百万円、支払手形及び買掛金の減少2億53百万円、未払金の減少1億98百万円、電子記録債務の減少89百万円、未払法人税等の増加7億59百万円によるものです。固定負債は29億7百万円となり、38百万円減少しました。これは主に、役員退職慰労引当金の減少34百万円によるものです。

③ 純資産の部

純資産合計は595億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ44億20百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の獲得19億42百万円、配当金の支払10億2百万円、自己株式の取得52億44百万円、その他の包括利益累計額の減少1億16百万円によるものです。

なお、自己株式の消却56億74百万円を実施しており、利益剰余金と自己株式がそれぞれ同額減少しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

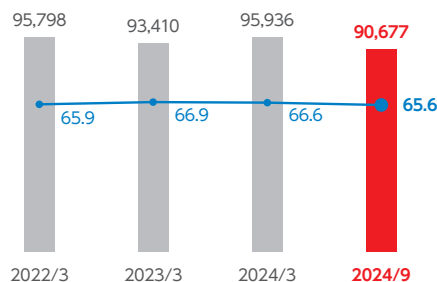
科目	当中間期	前中間期
	自 2024年 4月 1 日 至 2024年 9月30日	自 2023年 4月 1 日 至 2023年 9月30日
売上高	73,896	70,050
売上原価	54,885	51,942
販売費及び一般管理費	16,001	16,309
営業利益	3,008	1,798
営業外収益	246	149
営業外費用	51	300
経常利益	3,203	1,647
特別利益	16	76
特別損失	63	9
税金等調整前中間純利益	3,156	1,714
法人税、住民税及び事業税	1,432	657
法人税等調整額	△218	△218
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,942	1,275

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期	前中間期
	自 2024年 4月 1 日 至 2024年 9月30日	自 2023年 4月 1 日 至 2023年 9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△323	883
投資活動による キャッシュ・フロー	△883	△2,127
財務活動による キャッシュ・フロー	△6,247	△1,403
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△35	57
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△7,490	△2,590
現金及び現金同等物の 期首残高	29,958	20,506
現金及び現金同等物の 中間期末残高	22,468	17,916

総資産 (単位：百万円) 自己資本比率 (単位：%)



詳細情報は

メルコホールディングス IR

検索

melco-hd.jp/ir/top

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 (注) 2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を2022年3月期の期首から適用しておりますが、2021年3月期以前に係る数値については、遡及適用を行っておりません。

| 国内 |

株式会社メルコホールディングス

商号	株式会社メルコホールディングス (英文社名) MELCO HOLDINGS INC.
設立	1986年（昭和61年）7月1日
資本金	10億円
事業内容	グループの純粋持株会社 各種事業を営む会社の株式を所有し、 事業活動支援、経営指導を通じての統括管理
従業員数	27名、グループ連結1,023名
グループ企業	会社数15社（国内12社、海外3社）

役員

代表取締役社長	牧 寛之	取締役 (常勤監査等委員)	續木 政直
取締役	長瀬 吉昌	社外取締役 (監査等委員)	神谷 純
取締役	矢野 学	社外取締役 (監査等委員)	宮嶋 宏幸
取締役	中山 千里	社外取締役 (監査等委員)	大塚 久美子
取締役	渡邊 泰治		
取締役	津坂 巖		

株式会社バッファロー

商号	株式会社バッファロー (英文社名) BUFFALO INC.
創業	1975年（昭和50年）5月1日
設立	1978年（昭和53年）8月5日
資本金	3億20百万円
事業内容	デジタル家電及びパソコン周辺機器の 開発・製造・販売及びデータ復旧サービス
従業員数	639名

役員

代表取締役社長	牧 寛之	取締役	西脇 孝志
取締役副社長	渡邊 泰治	取締役	岩崎 克己
専務取締役	和田 学	取締役	田村 信弘
常務取締役	矢野 学	監査役	小澤 みつる
常務取締役	横井 一紀	監査役	中村 智仁
常務取締役	石丸 正弥		

*2024年10月1日付でシマダヤ株式会社の株式の現物配当(株式分配型スピノフ)を実施したことに伴い、シマダヤ株式会社は当社連結子会社から除外されました。

シー・エフ・デー販売株式会社

パソコンパーツ及び周辺機器の開発・製造・販売

株式会社バイオス

ストレージ関連製品の開発・製造・販売

株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売、インフラの構築・保守

アドバンスデザイン株式会社

データ復旧/消去/変換サービス及びデータ消去製品の製造・販売

メルコシンクレッツ株式会社

音響機器及び関連製品の開発・販売

株式会社デジオン

ネットワーク・ストレージソフトウェアの開発・販売

株式会社トゥーコネクト

ダイレクトマーケティング事業

株式会社ライフエンリッチ

ダイレクトマーケティング事業

| 海外 |

〈米国〉 BUFFALO AMERICAS, INC.

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

〈台湾〉 巴比禄股份有限公司

部材の調達・管理

株式の状況

発行済株式数 15,300,000株 (自己株式94,303株含む)

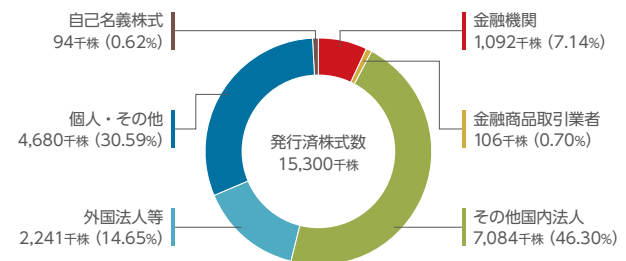
株主数 5,937名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社メルコグループ	6,469	42.54(42.28)
牧 寛之	2,093	13.76(13.68)
ECM MASTER FUND	1,567	10.31(10.24)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	843	5.54(5.51)
公益財団法人牧誠財団	500	3.28(3.26)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	189	1.24(1.23)
岩崎 泰次	146	0.96(0.96)
メルコ共栄会	116	0.76(0.76)
牧 廣美	79	0.52(0.51)
メルコ従業員持株会	74	0.49(0.48)

- (注) 1. 持株数は千株未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式を控除した発行済株式の総数を基準にして計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。なお、() 内の持株比率は自己株式を含めた発行済株式の総数を基準にして計算しております。

所有者別分布状況



- (注) 1. 持株数は、千株未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 構成比率は、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

メルコバリュー

千年企業

私たちは、先人の教えを真摯に学び、活用し、常に未来を見据え、メルコバリューを共有する全ての人たちとともに、メルコグループの持続的な成長を目指します。

顧客志向

私たちは、常にお客様の視点に立ち、より良い社会生活の実現に資する商品・サービスを提供し続け、私たちの智慧と努力が社会の発展に寄与することを喜びとします。

変化即動

私たちは、世の中の変化に目をそむけず、誤りに気付いた時は引き返す勇気を持ち、常に自己研鑽に励み、自己変革を目指して行動します。

一致団結

私たちは、フェアアンドオープンで、高い志と情熱を共有する人たちと共に、いかなる困難をも乗り越え、一丸となって目標を達成します。

株主メモ

決算期日 3月31日

定時株主総会 6月

株主確定基準日
議決権行使株主 3月31日
期末配当金受領株主 3月31日
中間配当金受領株主 9月30日

上場証券取引所 東証スタンダード市場・名証プレミアム市場

証券コード 6676

1単元の株式数 100株

公告の方法 電子公告 <https://melco-hd.jp/koukoku/>

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
同 連 絡 先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
東京都杉並区和泉二丁目8番4号

◎電話照会先
TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル)
平日9:00~17:00

幹事証券会社 (主)大和証券
(副)野村證券、みずほ証券、SMBC日興証券

ウェブサイトのご案内

株式会社メルコホールディングス

<https://melco-hd.jp>

株式会社バッファロー

<https://www.buffalo.jp>

株式会社 **メルコホールディングス** (証券コード6676)

東京本社 〒100-6215 東京都千代田区丸の内一丁目11番1号
パシフィックセンチュリープレイス丸の内
TEL. 03-4213-1122(代) FAX.03-4213-1123

名古屋本社 〒460-8315 名古屋市中区大須三丁目30番20号 赤門通ビル
TEL.052-251-6891(代) FAX.052-249-6609



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。